## 「摩擦撹拌接合の高度化」特別研究会会員募集

本学会における研究委員会活動をより活発にするため，研究推進部会が設置されておりますが，現体制下の「委員会」以外に，特定課題に対する「特別研究会」の設置が提案され，本学会の活動をより広範にする試みがなされています．これにつきまして，上記研究会が発足することになりましたので，参加者を募集いたします．

尚，特別研究会は，特定のテーマについて2年程度で成果をあげることができるように参加人数は10～20名程度の少数精鋭とさせて頂きます．参加の可否については，研究推進部会の決定にお任せ願います．

―記―

**1．研究会の目的**

摩擦攪拌接合法（FSW）は，1991年に英国のTWIで発表された後，需要の高い接合手法として，その応用研究が急速に進んでいる．特にアルミニウム合金に関しては，これまでの課題を一気に解決できる可能性を秘めた接合法として，開発と同時に国内外で盛んに応用研究が行われ，すでに開発から10年で実用化されている．また，地球に優しい生産技術が求められている中で，アーク，ヒューム，粉塵，騒音などを発生しないFSWは環境に優し

く，エネルギーおよび省エネの点でも大きな効果が期待できるという利点を有する．
FSWは開発からわずか10年の短期間で製品に適用されつつあるという事実から，今後も様々な開発が行われ，大きな発展につながる可能性があると言える．しかしながら，工業的な生産技術として展開するためには，依然，解決しなければならない課題が多くある．また，開発途上の技術であるため，公開されていない技術および適用製品も多くあると推察される．

そこで本研究会では，互いに保有する情報を交換することで，鉄道，原子力，航空宇宙，自動車，工作機械，海洋開発，石油化学，電気，機械，発電所などのさまざまな分野で活用されることが予測される， FSW技術のさらなる向上を目的としている

**2．委員会組織**

主査：野城　清（大阪大学接合科学研究所　教授）

**3．期間**：平成15年4月から2年間

**4．活動予定・内容**

- 溶接プロセスおよび回転ツールの最適化
- 材料組織的アプローチ
- 非アルミニウム合金および異材接合への適用
- シンポジウムの開催

**5．参加条件**

本研究会は参加メンバー各自に課題を与え，その課題に関して，データ及び試料を持ち寄り，全メンバーで討論を行います．

したがって，参加メンバーには討論材料の提供や試験等の負担が課せられることもあります．この点をご理解したうえで，参加を希望される方は，下記まで参加をお申し込み下さるようお願いいたします．

**6．参加費**

無料

**7．参加申し込みの締め切り**

平成15年3月15日

**8．申し込み方法**

氏名，所属先連絡先（住所，TEL，FAX， e-mail）部局，職名，専門分野をご記入の上，Faxまたは手紙で応募下さるようお願いいたします．

〒567-0047
大阪大学接合科学研究所　教授　野城清
TEL＆FAX　06-6879-8643
e-mail: nogi@jwri.osaka-u.ac.jp